

「音声コード」について

鳥取県福祉保健部障がい福祉課社会参加推進室 令和6年5月作成

○音声コードの必要性

鳥取県内の視覚障がい者数は約2,000人で、このうち点字を読める視覚障がい者は少なく、特に中途失明者、弱視の方の中には点字が分からない人もたくさんおられます。多くの方は主に音声や拡大文字によって情報を得ています。文字情報を音声にする方法としては、補助者による代読やパソコンの音声読み上げソフトを用いる方法のほか、文字内容をコード情報（音声コード）に変換して印刷したものをスマートフォンや活字文書読上装置を使って音声化する方法があります。

○音声コードとは

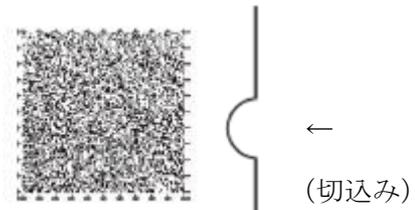
音声コードは、日本で開発された高密度の二次元信号で、デジタル化された文字情報がコード内に含まれており、コードを元に音声を出力することが出来ます。

○使用例

(鳥取県作成のチラシ)



音声コード



※印刷物に音声コードを添付したときには、その右側に音声コードの添付位置が分かるように切込みを入れます。

○音声コードを作成するには

<外注する>

音声コードの作成が可能な印刷会社などに外注することで、音声コード付き印刷物を作成することができます。

<自作する>

コードの作成は、専用のソフトを用いて Microsoft Word で作成したテキストデータをコード化する方法で行います。

○文化芸術を鑑賞する機会の拡大を目指して

視覚障がいのある方が文化芸術を鑑賞する機会を拡大していくためには、音声コードの普及等を通じた情報のバリアフリー化が重要です。イベント等の開催に当たりチラシやパンフレットを作成される際は、音声コードの導入についてご検討いただくようお願いします。